



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高橋 武治  
問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員管理部長（氏名） 市川 尚 TEL 03-3271-1711  
半期報告書提出予定日 2024年8月13日 配当支払開始予定日 2024年9月6日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	4,789	26.9	337	42.9	385	34.7	242	43.8
2023年12月期中間期	3,773	6.5	236	208.2	285	142.4	168	79.2

（注）包括利益 2024年12月期中間期 250百万円（42.6%） 2023年12月期中間期 175百万円（83.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	29.55	—
2023年12月期中間期	19.87	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	13,302	10,778	81.0	1,327.32
2023年12月期	12,709	10,701	84.2	1,293.18

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 10,778百万円 2023年12月期 10,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年12月期	—	10.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	26.8	550	54.6	610	35.9	400	32.5	48.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期中間期	9,553,011株	2023年12月期	9,553,011株
2024年12月期中間期	1,432,464株	2023年12月期	1,277,864株
2024年12月期中間期	8,197,427株	2023年12月期中間期	8,477,929株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本経済は、ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・ハマス戦争の長期化の影響や円安継続により、インフレが続いており、そこに建設業、運輸業の働き方改革による労働力不足が深刻度を急速に深まるため、すべてにわたりコスト上昇が見込まれ、相当なインフレが起こることが予想されます。

このような状況の下、当建設業界におきましては、ゼネコン及びその協力会社である当社は受注時採算の低いところに資材高、人手不足によるコストアップが重なり、収益が低下傾向にあります。当社は厳しい環境下、大型物件の着工もあり前中間連結会計期間比売上を伸ばしつつ、オペレーションの効率化や精算時の交渉を丁寧にして、収益の改善に努めています。

プールを手掛けるアクア事業では、引き続き主力である学校やスポーツクラブに加え、老朽化したプール施設のリニューアル工事等の拡大を図っております。インバウンド復活でホテルのプールが増加傾向にあること、大きなシェアを持っていたFRPプールメーカーが撤退したことから、受注量が増えてきています。

この結果、当中間連結会計期間における当社企業グループの業績は売上高47億89百万円(前中間連結会計期間比26.9%増)、営業利益3億37百万円(前中間連結会計期間比42.9%増)、経常利益3億85百万円(前中間連結会計期間比34.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2億42百万円(前中間連結会計期間比43.8%増)となりました。なお、受注高は39億61百万円(前中間連結会計期間比8.5%減)、受注残高は81億36百万円(前連結会計年度比9.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①PCカーテンウォール事業

当セグメントの売上高は43億81百万円(前中間連結会計期間比29.1%増)、セグメント利益は3億14百万円(前中間連結会計期間比55.3%増)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありませぬ。

#### ②アクア事業

当セグメントの売上高は3億77百万円(前中間連結会計期間比8.6%増)、セグメント利益は23百万円(前中間連結会計期間比30.2%減)となりました。

#### ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

当セグメントの売上高は31百万円(前中間連結会計期間比1.4%減)、セグメント損失は0百万円(前中間連結会計期間比0百万円のセグメント損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は133億2百万円と前連結会計年度末と比較して5億92百万円の増加となりました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が25億39百万円増加し、現金預金が17億50百万円及び未成工事支出金が1億49百万円減少したことによるものであります。

#### ②負債の状況

当中間連結会計期間末における負債合計は25億23百万円と前連結会計年度末と比較して5億15百万円の増加となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等が2億61百万円及び電子記録債務が2億58百万円増加したことによるものであります。

#### ③純資産の状況

当中間連結会計期間末における純資産合計は107億78百万円と前連結会計年度末と比較して77百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が1億59百万円増加し、自己株式が90百万円増加したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前中間連結会計期間と比較して14億20百万円減少して8億95百万円(前中間連結会計期間比61.4%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に、売上債権の増加額25億27百万円、仕入債務の増加額5億20百万円及び税金等調整前中間純利益3億77百万円により15億円の資金減少(前中間連結会計期間は9億49百万円の資金増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出43百万円により45百万円の資金減少(前中間連結会計期間は2億38百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入金の返済による支出80百万円、自己株式取得による支出90百万円及び配当金の支払額82百万円により2億4百万円の資金減少(前中間連結会計期間は1億34百万円の資金増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,645,746	895,163
受取手形・完成工事未収入金等	3,584,308	6,123,354
電子記録債権	596,929	585,151
未成工事支出金	384,183	235,070
その他の棚卸資産	108,472	114,339
その他	64,082	81,471
貸倒引当金	△625	-
流動資産合計	7,383,097	8,034,550
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	542,834	527,809
土地	1,757,455	1,757,455
その他(純額)	748,737	691,091
有形固定資産合計	3,049,027	2,976,356
無形固定資産	82,696	77,622
投資その他の資産		
投資有価証券	208,827	221,237
保険積立金	1,111,663	1,112,947
投資不動産(純額)	35,481	27,569
退職給付に係る資産	156,258	171,239
その他	688,490	686,623
貸倒引当金	△5,617	△5,847
投資その他の資産合計	2,195,103	2,213,770
固定資産合計	5,326,827	5,267,748
資産合計	12,709,925	13,302,299
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	463,399	724,752
電子記録債務	200,757	459,410
短期借入金	535,000	529,000
未払法人税等	85,545	118,935
未成工事受入金	31,165	12,054
賞与引当金	50,094	50,554
その他の引当金	48,542	17,951
その他	210,618	225,043
流動負債合計	1,625,122	2,137,701
固定負債		
長期借入金	144,000	120,000
役員退職慰労引当金	152,612	161,375
その他	86,976	104,659
固定負債合計	383,589	386,035
負債合計	2,008,711	2,523,736

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	7,762,232	7,921,699
自己株式	△470,564	△560,798
株主資本合計	10,675,030	10,744,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,182	34,298
その他の包括利益累計額合計	26,182	34,298
純資産合計	10,701,213	10,778,563
負債純資産合計	12,709,925	13,302,299

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高		
完成工事高	3,773,246	4,789,584
売上原価		
完成工事原価	3,107,326	4,009,515
売上総利益		
完成工事総利益	665,920	780,068
販売費及び一般管理費	429,598	442,427
営業利益	236,322	337,640
営業外収益		
受取利息	158	169
受取配当金	1,836	1,762
補助金収入	-	10,913
投資不動産賃貸料	1,186	4,720
受取家賃	5,086	5,560
鉄屑売却収入	33,334	19,498
貸倒引当金戻入額	720	395
その他	11,535	9,527
営業外収益合計	53,858	52,546
営業外費用		
支払利息	1,669	1,774
不動産賃貸費用	482	1,889
その他	2,117	1,517
営業外費用合計	4,269	5,180
経常利益	285,910	385,006
特別損失		
固定資産除却損	795	57
減損損失	-	7,840
特別損失合計	795	7,898
税金等調整前中間純利益	285,114	377,108
法人税、住民税及び事業税	67,545	120,351
過年度法人税等	40,950	-
法人税等調整額	8,150	14,538
法人税等合計	116,647	134,889
中間純利益	168,467	242,218
親会社株主に帰属する中間純利益	168,467	242,218



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	168,467	242,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,060	8,116
その他の包括利益合計	7,060	8,116
中間包括利益	175,528	250,334
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	175,528	250,334

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	285,114	377,108
減価償却費	157,373	146,484
減損損失	-	7,840
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△720	△395
固定資産除却損	795	57
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,713	8,763
引当金の増減額(△は減少)	76,092	△30,131
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△23,557	△14,981
受取利息及び受取配当金	△1,994	△1,931
支払利息	1,669	1,774
売上債権の増減額(△は増加)	572,710	△2,527,267
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△110,839	149,112
その他の棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,724	△5,867
保険積立金の増減額(△は増加)	1,663	△1,284
その他の資産の増減額(△は増加)	26,248	△18,113
仕入債務の増減額(△は減少)	△848	520,005
未成工事受入金の増減額(△は減少)	23,811	△19,111
その他の負債の増減額(△は減少)	△6,359	△5,765
小計	994,147	△1,413,702
利息及び配当金の受取額	2,154	2,083
利息の支払額	△1,563	△1,882
法人税等の支払額	△45,330	△86,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	949,407	△1,500,461
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△240,685	△43,891
無形固定資産の取得による支出	-	△4,527
貸付金の回収による収入	2,250	2,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,435	△45,868
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	160,000	50,000
長期借入れによる収入	240,000	-
長期借入金の返済による支出	△114,000	△80,000
建設協力金の返済による支出	△1,260	△1,260
自己株式の取得による支出	△65,241	△90,233
配当金の支払額	△85,360	△82,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	134,137	△204,252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	845,109	△1,750,583
現金及び現金同等物の期首残高	1,470,755	2,645,746
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,315,865	895,163

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,394,515	347,152	3,741,667	31,578	3,773,246	—	3,773,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,394,515	347,152	3,741,667	31,578	3,773,246	—	3,773,246
セグメント利益又はセグメント損失(△)	202,719	33,609	236,329	△7	236,322	—	236,322

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,381,319	377,132	4,758,451	31,132	4,789,584	—	4,789,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,381,319	377,132	4,758,451	31,132	4,789,584	—	4,789,584
セグメント利益又はセグメント損失(△)	314,779	23,448	338,228	△587	337,640	—	337,640

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。